

2020 年 9 月 14 日

報道関係者各位

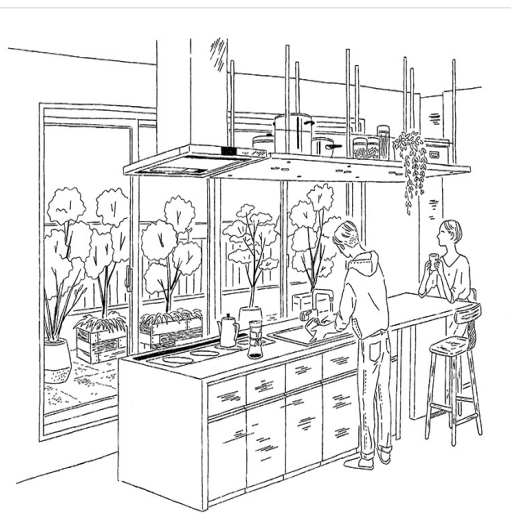
 日鉄興和不動産株式会社  
株式会社リビタ

**日鉄興和不動産株式会社と株式会社リビタ、初の 2 社共同事業**  
**“自分の部屋の延長”として使える共用部分「セカンドリビング」を備えた**  
**『リビオレゾン THURSDAY 調布』**  
**2020 年 8 月販売開始、第 1 期 14 戸完売**

日鉄興和不動産株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：今泉 泰彦、以下「日鉄興和不動産」）と株式会社リビタ（本社：東京都目黒区、代表取締役：川島 純一、以下「リビタ」）は、初の共同事業となる新築分譲マンション『リビオレゾン THURSDAY 調布』（総戸数 50 戸、東京都調布市調布ヶ丘 1 丁目）の販売を 8 月 9 日（日）より開始し、第 1 期 14 戸を完売。9 月より第 2 期の販売を開始いたします。

本事業は、首都圏を中心に新築分譲マンション事業を手掛ける日鉄興和不動産と、リノベーション分譲・賃貸事業等を手掛けるリビタの初の 2 社共同事業です。本事業では、日鉄興和不動産が運営するシングルライフのための暮らし・住まいの研究所「+ONE LIFE LAB」（プラスワンライフラボ）や自社コンパクトマンションブランド「リビオレゾン」で培ってきた新築分譲コンパクトマンションの商品企画ノウハウと、リビタが手掛ける一棟リノベーション分譲マンション事業「リノア」シリーズや、シェア型賃貸住宅「シェアプレイス」の企画・運営で培ってきた、暮らし・生活をリノベーションする商品企画、コミュニティ醸成のノウハウを活かした、新しい姿のコンパクトマンションを目指しました。

『リビオレゾン THURSDAY 調布』は、平均専有面積約 30 ㎡～69 ㎡のコンパクトな 1R・1LDK・2LDK の居室と、自分の部屋の延長として使える、大きなキッチンとテラスを設えた共用部分「セカンドリビング」を備えた単身世帯向け中心のコンパクト新築分譲マンションです。



(左) 『リビオレゾン THURSDAY 調布』外観完成 CG イメージ

(右) 大きなキッチンとテラスを設えた「セカンドリビング」イメージイラスト

## 「リビオレゾン THURSDAY 調布」の主な特徴

### 【1】“THURSDAY＝木々と暮らす”をコンセプトにしたデザイン設計

ケヤキ並木沿いに誕生する本物件。調布の街が持つ緑との繋がりが生まれ、心地よさ、穏やかさ、安心感が溢れるような物件を目指し、コンパクトな敷地ながら、50種類以上の植物を計画するほか、外観にはタイルや手作業の風合いが感じられる塗料を使用。さらに専有部分には天然ケヤキの挽板フローリングをセレクトメニューとして採用するなど、随所で変化に富む本物の木々を感じることが出来る、豊かで安らぎのある空間を演出しています。

### 【2】自分の部屋の延長として使える共用部「セカンドリビング」

大きなキッチンとテラスを設えた Wi-Fi 完備の「セカンドリビング」を本物件の3階に設置。入居者はテレワークや読書、入居者間でのコミュニケーションなど自由に利用できるほか、友人や家族での貸し切り利用も可能。また、アウトドアリビング用のシェアグッズ完備や季節のハーブが摘み取れるテラスなど、一人でも友人や家族とも過ごせる、本物件ならではの日常の延長線上の居場所です。

### 【3】多彩なプランバリエーション

単身世帯向け中心の分譲マンションでありながら、1Rから1LDK、2LDK、メゾネットまで多彩なプランを用意。その中の一つに、間仕切りを極力減らし、コンパクトながら広さを感じることが出来る1Rのオリジナルプランを採用。小上がりスペースを設け、一人の時はテレワークスペースとして、来客時にはゲスト用ベッドルームとしてなど、限られた専有面積を用途に合わせて使い分けができるプランとなっています。



(参考)『リビオレゾン THURSDAY 調布』Fタイプ モデルルーム写真

## ■『リビオレゾン THURSDAY 調布』物件概要

|      |                                            |        |                   |
|------|--------------------------------------------|--------|-------------------|
| 所在地  | 東京都調布市調布ケ丘一丁目 35 番 1 (地番)                  |        |                   |
| 交通   | 京王線「調布」駅徒歩 6 分                             | 構造・規模  | 鉄筋コンクリート造・地上 7 階建 |
| 総戸数  | 50 戸                                       | 間取り    | 1R・1LDK・2LDK      |
| 専有面積 | 30.09 m <sup>2</sup> ～69.40 m <sup>2</sup> | 竣工時期   | 2021 年 5 月下旬 (予定) |
| 売主   | 日鉄興和不動産株式会社<br>株式会社リビタ                     | 施工     | ファーストコーポレーション株式会社 |
| 設計   | 株式会社 Di-Frame                              | デザイン監修 | 古谷デザイン建築設計事務所     |

## ■公式 WEB サイト <https://www.nskre.jp/thursday-chofu/>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

日鉄興和不動産株式会社 広報室 担当：吉田

TEL：080-8438-9224 E-Mail：[mikiko.yoshida@nskre.co.jp](mailto:mikiko.yoshida@nskre.co.jp)

株式会社リビタ PR コミュニケーションデザイン部 担当：海法・石川

TEL：03-5656-0083 E-Mail：[pr@rebita.co.jp](mailto:pr@rebita.co.jp)

2020 年 9 月 14 日

報道関係者各位

株式会社リビタ

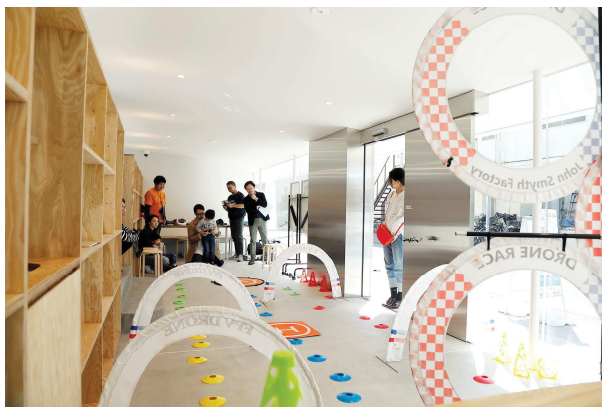
## ■ 本事業における当社の役割

今回、株式会社リビタは商品企画においてコンセプトから、共用部分デザインとその計画及び運用まで、**单身向け中心の新築分譲マンションにおける新たな価値づくりを提案**いたしました。また、2017 年 8 月に手掛けた同じく京王線「調布」駅徒歩圏において、シェア型賃貸住宅・大学国際学生宿舎に再生したプロジェクトでつながりを持った地元パートナーをはじめ、京王グループ各社とともに、今後、竣工お披露目イベントなどの企画・運営サポートとして、本物件における新しい暮らしの提案を計画しております。

当社の一棟まるごとリノベーション分譲マンション（※）の共用部分において、住む人からも地域からも愛される共用部デザインをハード・ソフトの両面から手掛けて参りました。

《 共用部における、新しい暮らしの提案例 》

- ・リノア武蔵野：住人も地域の人でも集まることができる家族の学び場として企画や入居者様の運営サポート
- ・リノア新松戸：地域ぐるみのイベントや住人たちのちょっとした集まりなど地域とマンションをつなぐ多目的空間の使い方を企画や入居者様の運営サポート



（左）リノア武蔵野の 1 階共用部“manabino”で実施した「ミニドローン操縦体験会」



（右）リノア新松戸の共用部竣工記念として実施した地域やマンションの入居者の皆様にお披露目会「街びらきフェスタ」

本物件の特徴のひとつである共用部分「セカンドリビング」をはじめ、エントランスや建物全体の計画、入居後の共用部分の仕掛け・仕組みなどの運用方法においても、**ファミリー向け分譲マンションから单身向けシェアハウスの企画・運営まで幅広い年齢層をターゲットにした事業を手掛ける当社**だからこそそのノウハウを活かしております。

※リビタの一棟まるごとリノベーション分譲マンションとは

優良な既存建物（ストック）を第三者機関による建物調査・診断の上、建物全体をリノベーションした分譲マンションです。中古の不安やデメリットを払しょくする取組みに加え、住む人からも地域からも愛される共用部デザイン、思い描く理想の暮らしを実現できる専有部の自由設計、永く大切に住み継いで頂くための「築後 100 年の長期修繕計画」を策定しコミュニティ形成を図ることで資産価値を維持、真に豊かな暮らしを提供していくことを目指す事業です。

## ■ 企画の背景

当社はこれまで、「くらし、生活をリノベーションする」をコンセプトに、150棟を超える賃貸マンションやビルディング、寮や社宅、工場などの多様な建物を、その時の時代やエリアのニーズに合ったものへリノベーションする事業を手掛けて参りました。分譲・賃貸マンションやシェアハウス、ワークスペース、それらの複合施設やホテルまで、つくることから運営まで、またそのノウハウを生かした今回のような共同事業まで、その実績は幅広く多岐にわたります。

それは、日本の住宅・不動産の価値を再生し、次の常識をつくり続けることであらゆる方にとって「未来の新しい暮らし」が始まると信じているからです。そこには、新築や中古、単身やファミリーなどといった垣根はなく、様々な領域において、これまでの分譲・賃貸・運営の実績で培ったノウハウを生かされることが背景にあります。

今後も、単身からファミリーまでの幅広い顧客接点を持つ当社は、遊休不動産の活用実績、コミュニティ醸成の企画や運営ノウハウを活かし、幅広い年齢層をターゲットにしたリノベーション事業により、新たな暮らしの提案をし続けて参ります。